

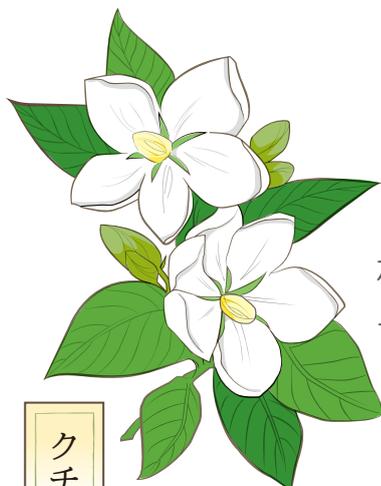
薬用植物図鑑

見て感じて楽しむ生薬

令和5年

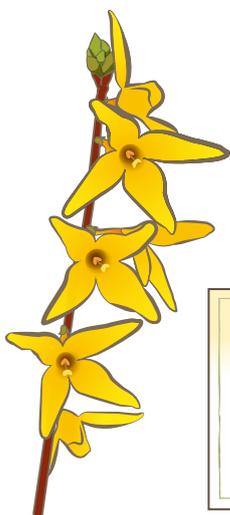
10月30日(月)～11月10日(金)

高麗祭開催の11月3日(金)、4日(土)開館



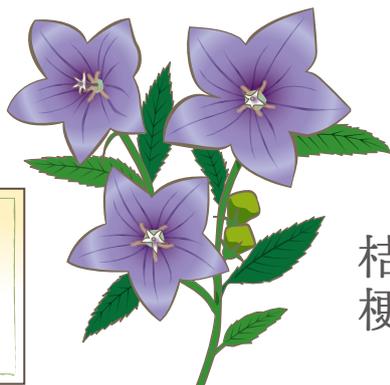
梔子

クチナシ



連翹

レンギョウ



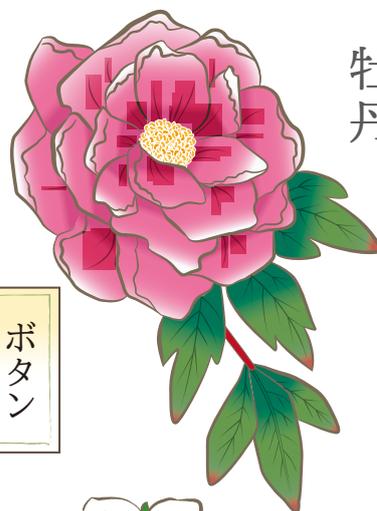
桔梗

キキョウ

紅花



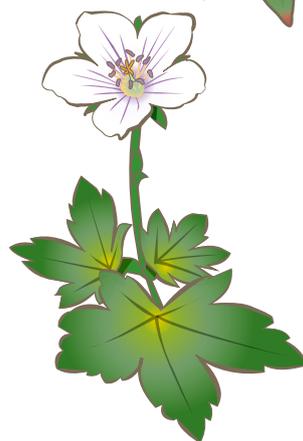
ベニバナ



牡丹

ポタン

現の証拠



ゲンノシヨウコ

開館時間＝午前9時30分～午後4時30分／休館日＝日曜日、11月2日(木) ※11月3日(金)、4日(土)は高麗祭開催のため開館
観覧料＝無料／会場＝ギャラリー-2／主催＝城西大学薬学部／特別協力＝松浦薬業株式会社 加藤久幸様／チラシデザイン案＝薬学科4年生



薬学科

— 6年制 薬剤師 —

薬科学科

— 4年制 研究・開発 —

医療栄養学科

— 4年制 管理栄養士 —

薬学部

50

周年記念

50周年企画展示に際しまして

1973年(昭和48年)に薬学部薬学科・製薬学科が開設され、2023年で薬学部開設50周年を迎えました。この50年で薬学部では13,484名の卒業生を輩出し(2023年4月時点)、卒業生たちは多方面で活躍しています。

本企画展は薬学部開設50周年を記念し、薬用資源に焦点を当てた展示となります。薬学では、生物、化学、物理を始めとして様々な分野を学びますが、歴史を遡ると身近にある薬用資源の利用が原点となっています。

本企画展では薬学の原点となる薬用資源をテーマとして、薬学部3学科(薬学科、薬科学科、医療栄養学科)の様々な視点で展示しています。

また、本企画展では、「美しい薬用植物」として、見て癒される植物も多く展示しています。薬用植物を身近に感じる様々な機会を通じて、多くの人が「見て感じて楽しむ」ことで気分が明るくなるとすれば、これもまた、「薬用」植物の持つ素晴らしい力なのかもしれません。

薬学部創立50周年企画委員会

薬用植物図鑑

— 見て感じて楽しむ生薬 —

薬研

(やげん)とは、薬材(生薬など)などを碾いて粉末化したり、磨り潰して汁を作ったりするための伝統的な器具

来館時に進呈



薬学部50周年記念ノベルティ

展覧会オリジナル
クリアファイル

★美術館受付にてお渡しいたします。

会期中先着 1500 名様

生薬入り
レジン箸置き

★薬学部学生の発案です。

高麗祭開催期間中 先着 100 名様

手作り



主な展示内容

薬用資源の確保

(キハダ、ブクリョウ)

食用ハーブと薬の相互作用

(「食品-医薬品の相互作用データベース」の紹介)

食品で漢方「薬膳」

(自身の「証」に合わせた薬膳レシピを紹介)

美しい薬用植物

(生薬の花を写真で紹介)

埼玉県の薬用資源

(身近な地域の生薬)

生薬の実物展示

(匂いで感じる生薬)

★薬学部薬学科の学生が薬膳レシピを考案！
リーフをお持ち帰りできます。

浴湯料作り体験

2023年11月3日(金)・4日(土)
高麗祭開催の2日間のみ

お好みに合わせ、複数の薬草をブレンドしてオリジナル浴湯料を作ります。

1回 200円

※頂いた料金は東日本大震災復興へ募金します。

体験者限定!

浴湯料お持ち帰り時に展覧会オリジナルトートバッグプレゼント!
(数量限定)



交通のご案内 / Access

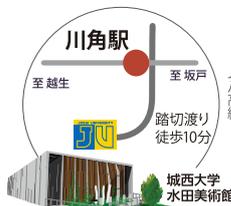


【電車の場合】

東武東上線坂戸駅乗り換えで東武越生線川角駅下車、踏切を渡り徒歩10分

【お車の場合】

1. 関越自動車道「鶴ヶ島 I.C.」を出て、鶴ヶ島方面に進み国道 407 号線を直進
 2. 「脚折町四丁目」交差点で右折し、右に「狩野動物病院」の看板がある交差点で右折
 3. 「一本松」交差点を毛呂山方面に直進
 4. 「万年橋」を渡り、「明海大学病院」の看板がある交差点を左折し直進、踏切を渡り登り坂を進むと突き当りに城西大学正門入口
- ※鶴ヶ島 I.C. より約 20 分



数字は川角駅までの最短所要時間です。
The number indicates the shortest time required to reach Kawakado station.

城西大学水田美術館
MIZUTA MUSEUM OF ART, JOSAI UNIVERSITY

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台 1-1
1-1 Keyaki-dai, Sakado-shi, Saitama 350-0295 JAPAN
Phone :049-271-7327 https://www.josai.ac.jp/museum/